

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	リサイクルふれあい館自主企画講座運営事業	所管	環境クリーン部 リサイクルふれあい館 Tel 2994-5374
-----	----------------------	----	-------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	循環型社会形成に向け、市民生活に3R実践のきっかけづくりとなる講習会を企画運営する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	2,771	人

活動の内容	(何を したか)	暮らしの中で3R(Reduceリデュース・・・ごみを減らす、Reuseリユース・・・再使用、Recycleリサイクル・・・資源として活かす)を実践するための場として、講習会を開催する。							
	活動実績	項目名	講習会開催数	158	項目名	講習会参加人数	2,771	項目名	講習会等種類
			----- 単位 回			----- 単位 人			----- 単位 種類

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,035	4,995	15,422	45.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	環境に配慮した生活を実践するための講習会参加人数	参加者数(延べ人数)	2,400	2,771	115.5
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	* 現状どおり 増額		減額		終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合		改善・効率化 改善余地なし		その他〔 〕 終了
		予算	現状どおり 増額		減額 終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050500	ℓa	2994-5374
事業コード	リサイクルふれあい館自主企画講座運営事業		環境クリーン部 リサイクルふれあい館			
050501		グループ	リサイクルふれあい館			
開始年度		平成 15 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画、次世代育成支援行動計画			循環型社会形成推進基本法、所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例
	関連・類似事業	環境学習講座実施・支援事業(環境総務課)			
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル
				中柱	1 ごみ減量とリサイクルの推進
				小柱	(2)リサイクルの推進
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード			
	1111 市民の知りたい情報の提供	1321 窓口満足度の向上	3621 事務改善活動等の充実・強化		
	事業開始の背景	旧リサイクル推進課で行っていた講座事業を継承するとともに、リサイクルふれあい館の新設に伴い、環境学習の拠点としてより多くの市民に環境に配慮した生活を啓発するため、新しい講習会を開催し定着を図ることとなった。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	循環型社会形成に向け、市民生活に3R実践のきっかけづくりとなる講習会を企画運営する。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方	市民		
		対象数	単位	平成 18 年度	337,883 人
				平成 19 年度	339,058 人
		利用数	単位	平成 18 年度	3,036 人
				平成 19 年度	2,771 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	暮らしの中で3R(Reduce)リデュース…ごみを減らす、Reuseリユース…再使用、Recycleリサイクル…資源として活かす)を実践するための場として、講習会を開催する。			

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	他団体が実施している講習会は、開催回数を見直しを図り、新たに4種類の講習会を実施した。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		5,396	6,035	4,757	
	決算 (見込み含む)		4,293	4,995		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 1.40 人 )	( 人 )	( 1.80 人 )	
	正規職員人件費		1.11 人	10,212	1.11 人	10,427
	公債費					
	事業費合計		14,505	15,422		
	財源内訳	一般財源	14,505	15,422	4,757	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		42.9	45.5		
	利用数一単位あたり(単位:円)		4,777.7	5,565.6		

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		講習会開催数	開催回数(延べ回数)	回	184	158		
		講習会参加人数	参加者数(延べ人数)	人	3036	2771		
	講習会等種類	種別講習会数	種類	26	28			
成果分析	環境に配慮した生活を実践するための講習会参加人数	目標値	2000	2400	2700			
		実績	3036	2771			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
		% 達成率	151.8	115.5				

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	参加希望者が多い講習会は開催回数を増やしたり、3R実践のきっかけになるような講習内容を研究し、運営を行っていく。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	市民にごみ減量や資源化の大切さを教授するさまざまな講習会	生ごみのリサイクルシステムを体験してもらおう「ふれあい農園」の野菜づくり等、生活に密着した講座の企画	平成21年度末	
	ごみ減量化やリサイクルに関する各種講座	市のホームページに掲載する動画の作成	平成21年度末	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	年間の参加者数は減少しているが、廃棄物行政にとって、ごみの減量・資源化は重要な取り組みであることから、今後もより多くの市民が受講できるように見直しを図り、市民に受け入れられやすい講習会を展開していく必要がある。			
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	リサイクルふれあい館長 本澤 勉	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
	評価日							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由							
評価日								

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1152
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成		
	施策の方向	5環境学習の推進		